

平成24年各種団体との 意見交換会実施報告

- 意見交換会実施日程 …………… P 1
- 意見要旨
 - ① 小牧南地区 区長会 …………… P 2
 - ② 小牧地区 区長会 …………… P 3
 - ③ 巾下地区 区長会 …………… P 4
 - ④ 味岡地区 区長会 …………… P 5
 - ⑤ 篠岡地区 区長会 …………… P 6
 - ⑥ 北里地区 区長会 …………… P 7
 - ⑦ 保健連絡員…………… P 8
 - ⑧ 老人クラブ連合会…………… P 9
 - ⑨ 子ども会連絡協議会…………… P 10
 - ⑩ 民生児童委員…………… P 11
- 当日実施アンケート結果 …… P 12以降

平成24年8月

市長公室 協働推進課

意見交換会 実施日程

No.	実施月日	時 間	団体名	場 所	出席者
1	6月 4日(月)	午前9時40分 ～10時30分	保健連絡員	保健センター	7人
2	6月17日(日)	午後7時40分 ～ 8時30分	篠岡地区区長会	東部市民センター	31人
3	6月20日(水)	午後7時30分 ～ 8時30分	小牧南地区区長会	ふらっとみなみ	11人
4	6月21日(木)	午後2時15分 ～ 3時	老人クラブ連合会	ふれあいセンター	31人
5	6月22日(金)	午後1時30分 ～ 2時30分	巾下地区区長会	ゆう友せいぶ	12人
6	6月28日(木)	午後7時15分 ～ 9時	子ども会連絡協議会	中部公民館	10人
7	7月13日(金)	午後7時30分 ～ 8時50分	小牧地区区長会	市公民館	26人
8	7月15日(日)	午前10時 ～ 11時10分	味岡地区区長会	味岡市民センター	29人
9	7月15日(日)	午後7時30分 ～ 8時40分	北里地区区長会	北里市民センター	17人
10	7月27日(金)	午前10時40分 ～ 11時40分	民生児童委員	ふれあいセンター	16人

計190人

① 小牧南地区区長会 意見要旨

■ 平成 24 年 6 月 20 日（水）PM7:30～8:30 ふらっとみなみ 小会議室

出席者：11 名 ※ふらっとみなみ運営協議会会長、議員 2 名、南部ボランティア計 4 名同席

●過去に南小学校のレクリエーション大会を企画し、そのかわり各区ごとの運動会をやめたという経緯がある。このように何か新しいことを始めるなら、何かやめる必要がある。仕事を増やすのには限界があり、皆だんだんついていけなくなる。

●新しい組織をつくと、必ず設立当初に関わった人間がその後もずっと引っ張られ、特定の人ばかりに負担が生じる。また、組織はだんだん複雑になり、行事が膨大化していく傾向にあり、そうなるますますなり手がなくなる。

●趣旨は分かるし、必要性も感じる。例えば当区では防犯パトロールも人数が集まらない状況である。そんな状況なのに新しいものを追加されてはとても受けきれない。新しい仕組みは、今の組織や業務を再編してからにしてほしい。今の案ではただの上乗せにしか思えない。区長目線にたって考えていただきたい。

●説明の中で人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの変化などの話があったが、それに伴い、住民が自治会に費やせる時間も確実に減っているという認識を十分に持って欲しい。

●課題や人材も地域でバラバラであり、一律で話しをするのはむずかしい。

●恐らく今のスポ振を充実させるイメージの組織だと推測するが、区の仕事を整理して、そういうものに徐々に任せていくことになればよいのではないか。

●さきほど「ふらっとみなみ運営協議会」の例が出たが、小牧南地区というものの実際、米野区や二重堀区などの「米野小学校区」は「ふらっとみなみ」をあまり利用しないので、付き合いがあるので協力はしているが、本音としては呼んで欲しくないという人が多いのではないか。

●市の立場としてこういう組織を推進していくことは理解できるが、もっと地域ごとで十分に理解を求めるべきだと思う。

〈ふらっとみなみ運営協議会会長からの参考意見〉

◎3 あい事業ですら全区で実施できていないのが現状であり、ただの理想論にしか思えない。

◎地域の祭りなどのイベントを合同実施ということで例示があったが、現実問題として、祭りは区ごとでそれぞれやり方が異なる。それをまとめるという作業自体、相当苦勞しなければならぬ。また、地域の子ども会や老人会も本当に後ろ向きになってきており、こんな都合のよい話がうまく進むとはとても思えない。

◎まずは今の組織の問題点等を整理してから、こういう話を持ってくるべきではないか。中途半端な組織なら始めからつからないほうがよい。

◎地域のために何かしようという人に対しては、何かしら楽しみを与える必要がある。楽しみがなければ続かない。今の役所の制度は少しばかりの補助金に対して、うるさく言われる。そういう仕組みを検討してもらいたい。

② 小牧地区区長会 意見要旨

■平成 24 年 7 月 13 日（金）PM7:30～8:50 市公民館 視聴覚室 出席者：26 名

●名張市は先進地というが、小牧と違うし、そもそも先進地で取り組んでいるから小牧でもやるべきだという論法が飛躍しすぎている。

●小牧は町名変更をたくさん実施し、旧町名がどんどんなくなっていったが、現在の区という単位で何とかまとまってきたと思う。他市でも地域の絆の復活ということで、旧町名復活の取り組みをしているところがある。

●区は未加入者に対してどうするのかいろいろ苦労している。行政は強制できないという指導をするが、そういうことを言われるとますます区の未加入者が増えてしまう。今、地域協議会をつくることに時間をかけるよりも、区の加入促進の取り組みに力を入れてほしい。小さな基礎的な単位の集まりをしっかりとしないまま、大きい組織をつくるというのはおかしいと思う。

●当区は、既にいろんな団体から区の役員を選出してもらい、会議もやっている。まさに協議会のような組織体制になっていると思う。

●当区は規模が小さく、戸建て住宅ばかりであるため、加入率が 100%ということで問題ないが、逆に何をやっても小じんまりとしており、面白みにかける。

●区も細分化されすぎていると感じている。最初からいろいろ決めるのではなく、6 地区と 1 2 9 区の間くらい規模で、予算もかけず、とりあえず何かやってみるということではじめればよいと思う。

●屋上屋になると思う。こんなことに財源を使うなら、もっと区に対しての財政援助をしてほしい。

●区の加入・未加入の問題についての解決方法がないまま協議会をつくるのは問題がある。結局、行政から区へぶつけてくるし、区からの援助が必要になるのではないかと思う。

●区の加入者・未加入者との住み分けを考える必要がある。区費を払わない人に対してまでいろいろ考える必要はない。

●市の具体的な職員の削減目標も示さずに、何でも地域へと言われても正直、迷惑だ。

③ 巾下地区区長会 意見要旨

■平成 24 年 6 月 22 日（金）PM1:30～2:30 ゆう友せいぶ 小会議室 出席者：12 名

●巾下地区では小学校区ということでは三ツ淵、村中、小牧原の3つの学区がある。当区は三ツ淵学区だが、ここには「コミュニティ推進協議会」がある。今の状況は、区の世帯数の格差があっても同様のつきあいをしなくてはいけない。つきあい程度ならいいが、組織を運営していくには役員が必要となり、大変なのは役員を出すことである。今でも現役世代には不可能なくらい行事や会議がある。本音を言えば、もうこれ以上、余計な組織をつくられるのは迷惑である。

●区長アンケートの結果をみると、防災訓練や盆踊りなど協議会で想定される行事が、既に区で実施しているという意見がかなり高いポイントを占めているため、もう十分だということではないか。

●また、アンケートは区長対象で実施されたものだが、区主体ではやっていないが、他の団体が実施していることも多いので、この結果だけで地域のことを判断されても困る。

●現行の市の補助金は、飲食不可というものばかりだが、地域のイベントでは飲食代というのは必ず必要になり、結局補助金の意味がない。地域で使いやすい補助金の仕組みを検討していただきたい。また、一人当たりの金額の想定を知りたい。それによって地域でやれることが変わる。

●また、補助金制度は市だけで決定できるものでもなく、監査だとかそういう調整も必要になるため、難しいと思う。

●当区は昔は様々な活動をしていたが、今は区としての活動がほとんどない。区内でそれぞれ仲良しサークル的な団体がバラバラに活動しており、交流がなく、閉塞感がある。個人的には協議会が交流を促進するひとつのきっかけになるのではないかと思う。

●当区は巾下地区で唯一、小牧原小学校区に属しているにも関わらず、巾下地区では村中小学校区ということで会議に出席している。仮に協議会ができて、区長会との整合がとれない。

●既存の区と協議会の業務が重複する。実際にどうなるのかピンとこない。

●区の運動会といっても小学校、スポ振、区と主催は違うものがあるが、長年続いている。それを整理すると言っても、楽しみにしている区民の意見もあり、簡単にやめるということにはならない。

●独居老人の見守りなどを実施するにも必要な情報を市からもらわないことにはできない。個人情報の取扱いについて十分に検討する必要がある。

●仮に何か一つ新しい行事をやろうとすると、準備期間に半年はかかるということを理解していただきたい。

④ 味岡地区区長会 意見要旨

■平成 24 年 7 月 15 日（日）AM10:00～11:10 味岡市民センター 学習室

出席者：29 名 ※議員 1 名傍聴

●区や学区の話は歴史が古く、過去のことを言い出してもきりがないので、今後どうするという方向性を市で決めて、地域へ打ち出すべきである。

●まず地域へいかに周知するかということではないか。広報の記事を少し掲載したくらいでは、市民は何のことか分からない。目立つようにPRし、全市民へ周知すべき。

●発想としてはよいが、区長会の延長のような組織では意味がない。メンバー構成を十分に検討してほしい。

●区は3あい事業を中心にうまくまわっている。協議会は地域が混乱しかねない。また、担い手への不安もある。既存の3あい事業を重視すべきである。

●名張市へ視察へ行って、役員の方の話を聞いたら、「できればやりたくない。」と言っていた。こういうものは賛否両論あると思う。

●名古屋の地域委員会も行き詰っているようだし、協議会ありきで議論をすすめるのはおかしい。

●地域の活動が活発だとか、活発でないとかの基準が分からない。

●全くイメージがわからない。

●学区単位ということだが、区と学区の不突合について検討してほしい。あまり学区にしばられると、区は動けない。例えば、味岡地区なら味岡地区中心で考えるという方向性だけでも出してほしい。

⑤ 篠岡地区区長会 意見要旨

■平成 24 年 6 月 17 日（日）PM7:40～8:30 東部市民センター 視聴覚室 出席者：31 名

●当区は個人情報の関係で区民の名簿管理もしっかり行っているし、高齢者の見守りだとかいうことも民生児童委員と連携しながら区で行っている。区の役員に困りごとを聞いても特に何も無いと言っていた。

●区長が自分の地域は自分で守るという意識を持って、何事にも取り組んでほしいと願っている。

●当区は 300 戸程度だが、なかなか強い繋がりには期待できず、複数年に亘り、協力してくれる人は本当に少ない。範囲が広がるとなると、地域の繋がりがかえって希薄になるのではないかと懸念される。まだよく分からないが、問題が多い制度だと思う。

●設立の趣旨は理解できるし、賛同もできるが、拙速であってはならないということと、社会構造を前提とした各地区の現状を十分に把握したうえで進めていただきたい。

●説明は例示だということであったが、子ども会や老人会という組織の位置づけは、自治会の実態とイメージがかけはなれており、理解に苦しむ。もっと位置づけを明確にし、もっと具体的に示していただきたい。

●財政支援と人的支援を検討するとのことで、財政支援は小牧は財政にまだ余裕があるので問題ないと思うが、人的支援について、現在の案では受ける側は会議等を必ず夜間に想定しなければならず、逆に負担になるのではないかと思う。

●地域協議会が主体になり、区がそれに従うしかないような状況にならないように役割分担を明確にしてほしい。

●名張市すずらん台地区の講演会を聞いたが、すずらん台地区は過疎地で名張市に切り捨てられている地区ではある。仮に小牧市に過疎地があり、モデルになるような地区があればよいが、それは考えられないため、なじまない気がする。

●確かに各区内で元気な高齢者の人材発掘の可能性はあると思う。

●区内での通夜と葬式の際、地域の方々の出席はごくわずかであり、そのときに確かに地域の絆力が希薄化しているのではないかと実感した。

●個人情報についての考え方が重要であると思う。何をするにもこれが一番ネックになってくる。

⑥ 北里地区区長会 意見要旨

■平成 24 年 7 月 15 日（日）PM7:30～8:40 北里市民センター 学習室

出席者：17 名

●今の区で十分機能しており、必要性が分からない。

●南部や西部の既存コミュニティ運営協議会や市民活動団体などの説明があつたが、全く何をやっているのか分からない。まずは、そういう組織の情報をもっと出すべきだ。その中で、参考になるものがあればやっていけばよい話であつて、なにも情報がないので、全くイメージがつかめないし、判断できない。

●地域の行事にてでくる人は固定化しており、区でも出てこない人をいかにひっぱり出すかということを考えている。

●結局、何をやりたいのかよく分からない。

●小木は3区あるが、盆踊りを行うのは小木上区のみとなつた。しかし、実際には小木に住んでいる住民が集まってきて、相当な人数になる。逆に人が増えすぎて、怪我やトラブルの原因になっている。広域で効率的にイベントをやるというが、よい面だけではない。

●広域のほうがよい活動などの例を示してほしい。

●子ども会も人数が減り、5年前の半分になつた。そういうことに対して、区としてどうするべきか必死に考えているときに、大きい組織をつくるなんて不可能だ。

●子どもを核にというが、昔と違って、子どもたちは塾や習い事が忙しくなり、行事への参加者はどんどん減っている。

●名張市と状況が似ている地域もあるかもしれないが、全く違う地域のほうが多い。

●地域でもかなり高齢化が進んできたため、区の中でやりきれないことがでてきたときのひとつのお助け手段という考え方でよいと思う。

●“絆力の低下”の要因で挙げられているようなことは区でも取り組んでいるが、仮に小学校区単位だから解決できるとは思えないし、むしろ逆ではないかと思う。

●行政は今の区のどこに問題意識を感じているのか分からない。

●連携・協力というが、仮にできていない区ができている区におんぶにだっこでは、とてもやっていけないと思う。

●ある程度のレベルまで区の格差をなくすことが先決。

●今、北里地区の区長の間では、来年から3あい事業の補助金が減額する、もしくは、なくなるといいうわさが流れている。

⑦ 保健連絡員 意見要旨

■平成 24 年 6 月 4 日（月） AM9:40～10:30 保健センター 栄養指導室 出席者：7 名

●保健連絡員として、区と関わるような活動は特にない。仮に関わるとするならば、組長や班長、地域 3 あい事業の役員などを兼任している場合には、区の役員という立場で関わることはある。

（参加者全員の共通意見）

●当区では、「いきいきサロンわかば」という活動があり、保健連絡員の充て職のようなものになっている。その他、区の各種行事で雑用に使われることが多い。

●常普請区は、区長会のつきあいは北里地区だが、小学校は小牧南小学校である。地域協議会は小学校区とのことだが、そういう付き合いが今後、心配である。

●現在、困っていることがあるほどの活動はしていない。主な活動といえば「赤ちゃん訪問」くらいである。仮に困りごとがある場合には、保健センターへ相談している。

●区の会合へ保健連絡員として出席することはないし、民生児童委員とも連携することや接触することもない。

●保健連絡員同士、地区ごとでは集まりがあるが、市内全体での活動は総会と健康フェスティバルくらいしかない。

●味岡地区での保健連絡員の会合をやったときにも、話題になったが、壮大すぎて意見が出なかった。

●本日の説明を聞く限り、現在、既に区でやっていることのような気がする。なぜ同じようなことを新たにお金をかけてやる必要があるのか疑問に思う。

⑧ 老人クラブ連合会 意見要旨

■平成 24 年 6 月 21 日（木）PM2:15～3:00 ふれあいセンター 大会議室 出席者：31 名

- 区のある方を考え直したほうがよいのではないかと。各区の大小の違いが大きく、見直しをかける余地があるのではないかと。今、新しい組織をつくっても、恐らく形だけで実体が伴わない。地域協議会ありきで進めるのはよくない。
- 3 あい事業との違いが分からない。
- 3 あい事業とのすみ分けや組織の複雑化への懸念、また個人情報の取扱いなどを十分に検討してほしい。
- より自主的・自立的な組織にするためには従来のひもつき補助金ではなく、地域で使いやすいものを検討してほしい。
- 資料の中で、西暦と和暦が混在して分かりにくいとため、統一してほしい。
- 説明があった地域ビジョン策定の際に必要な地域の基礎データは市からもらえるのか。

⑨ 子ども会連絡協議会 意見要旨

■平成 24 年 6 月 28 日（木）PM7:15～9:00 中部公民館 学習室 出席者：10 名

- 区から補助金をもらっている子ども会がほとんどで、時の区長の判断などで、子ども会としての意見がいろいろ雰囲気がある。
- 区の事情が違いすぎる。
- かつては校区ごとの行事がたくさんあったが、時代とともに衰退していったと聞いている。昔は校区理事を 3 名ずつ選出していたが、現在は 2 名の 2 年任期で、1 人ずつ交代するような仕組みで、なんとか維持している。
- 新しい組織をつくと、会議等が増え、負担が増大する。今でも校区理事の負担が大きいので、何か負担軽減に繋げることができるとよい。
- 市子連の活動として、子ども会の行事でバスを貸し出すバスレクというものがある。これもあとからできた 3 あい事業でもバスが無料で借りれるということで、3 あい事業が活性化していくほど、市子連の存在意義を薄れていく。このような状況にならないように、行政がかじとりをうまくやってほしい。
- 外国人に対する取り扱いなども問題になってきている。
- 学校区と区の不突合をどう整理するのか疑問。

●小牧だけでなく、他の市町も子どもが減っているということで、PTAと一緒にしてしまえばどうかなどの意見も出ている。個人的には子ども会は区単位で動いているため、学区単位に再編できるのはひとつの打開策だと思う。

●組織づくりと同時に人づくりを視野に入れているのか。一時的に組織だけつくっても、持続させるように次世代育成を検討していく必要がある。

●新しい組織をつくる時には、既存組織への配慮や影響を十分に考えて欲しい。

●現在、区の評議員をやっており、会議に出るが、区の役員は地域の重鎮ばかりで、頭が固い。

●今は子ども会がなくなってしまった区も増えてきており、子ども会のない地域にとっては有効ではないかと考える。

●過去に、市子連をなくして、小学校区で子ども会組織を再編してはどうかという議論もあったが、実現しなかった。理由としては、区から補助金をもらっている子ども会がほとんどで、合併の支障となった経緯がある。

●子ども会がなくなった地域の子どもたちは、3あい事業で参加する程度の関わりしかない。

●市子連から脱退する子ども会も増えてきており、多くは親の都合で役員になりたくないという理由が多い。ただ、市子連に未加入だからといって、活動をしていないという訳でもない。例をあげると、小牧地区の子ども会はほとんどが未加入だが、大変活動が活発である。小牧地区の子ども会の考え方は、自分たちの地域の子どもたちを自分たちでという考え方である。

●スポ振の校区運動会や3あい事業などの行事へ子どもが参加するときに、子ども会に入っている子とそうでない子の取扱いでいつも不平不満がでる。子どもがかawaiiそうだからといって平等にすると不公平感がある。

●既に校区単位での会議を実施しているため、校区単位の組織のほうがよい。

●この組織イメージでいくと、PTAと子ども会が40歳代くらいで、その他のメンバーは60歳代以上になると思う。そうなったときに、同じ会議の場で、とても意見が言えるとも思えないし、また、言ったとしても聞いてもらえないとは思えない。

●会議の時間帯も合わない。

●現実的に、区の中で、例えば3あい事業で子どもに関することは全部丸投げされて、困っている人も多く、逆に、子ども会に悪影響ではないかと懸念される。

●今も校区理事の負担が大きく、なり手不足が問題となっているのに、このイメージでは単純に校区理事の負担が倍になる可能性が高い。

●既にファミサポやボランティアセンターがあり、十分なのではないかな。

●ボランティアは性質上、責任が薄く、トラブルにならないのか、また、本当に機能するのか疑問。

⑩ 民生児童委員 意見要旨

■平成 24 年 7 月 27 日（金）AM10:40～11:40 ふれあいセンター 大会議室 出席者：16 名

●南部地区で活動をしているが、例に挙げてあるような地域の各種団体の活動には私が全部関わっている。今ですら後任を頼める人がいないのに、これ以上新しいものが増えてはさらになり手がない。

●南部地区には「ふらっとみなみ運営協議会」があり、大変良く似ていると思う。ふらっとみなみ運協も何とかがんばっているが、だんだん役員が疲弊してきている。組織の継続的な運営を考えると、組織のリーダーである人材が大変重要になってくる。そのため、安易な発想で、例えば「会長は区長から選任する」というように決めるのではなく、会長職の人材を十分に検討されたい。

●説明にあったような各種団体が話し合う機会は今までにあったのか。

●地域協議会とは、「各種団体が交流する」ことが主な趣旨という理解でよいか。

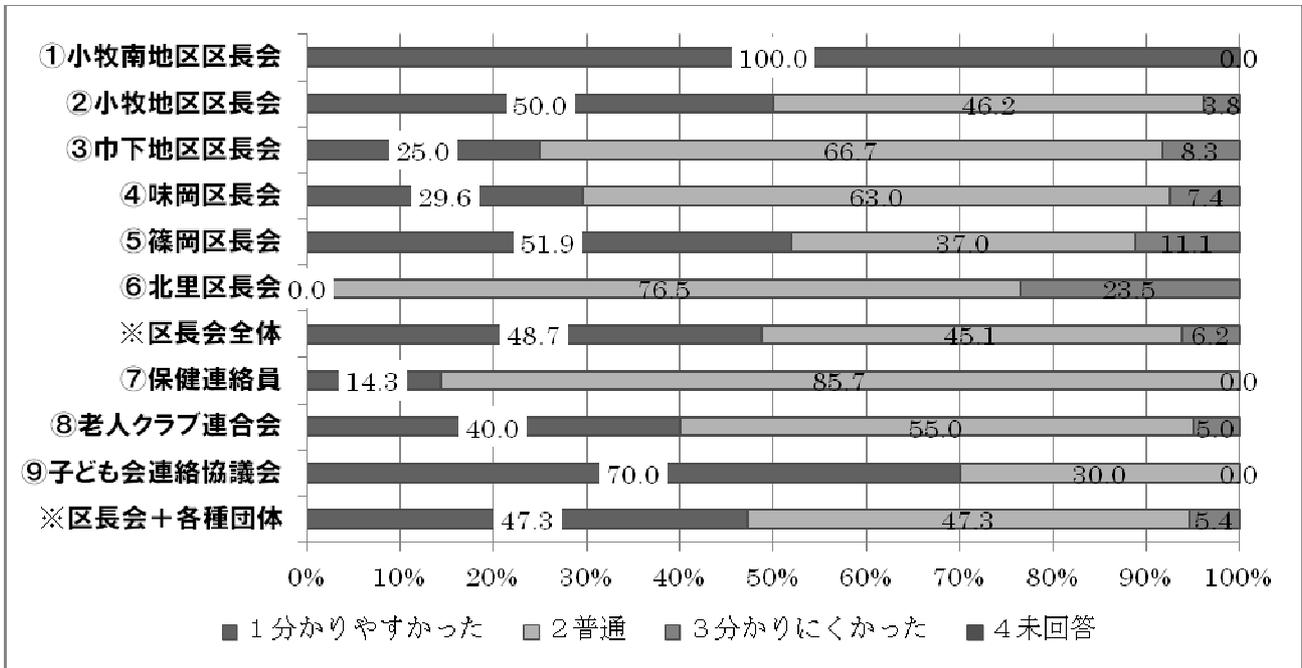
●民生児童委員は、地域の高齢者等の情報を多く持っているが、守秘義務があるため、知り得た個人情報他人に言うことができない。そのため、こういうものに参加し、情報交換しろと言われても、どこまで話してよいのかもという悩みが出てくる。民生児童委員という立場での参加ということになると難しいと思う。

●なり手不足はどの地域でもどの団体でも共通の課題であると思う。

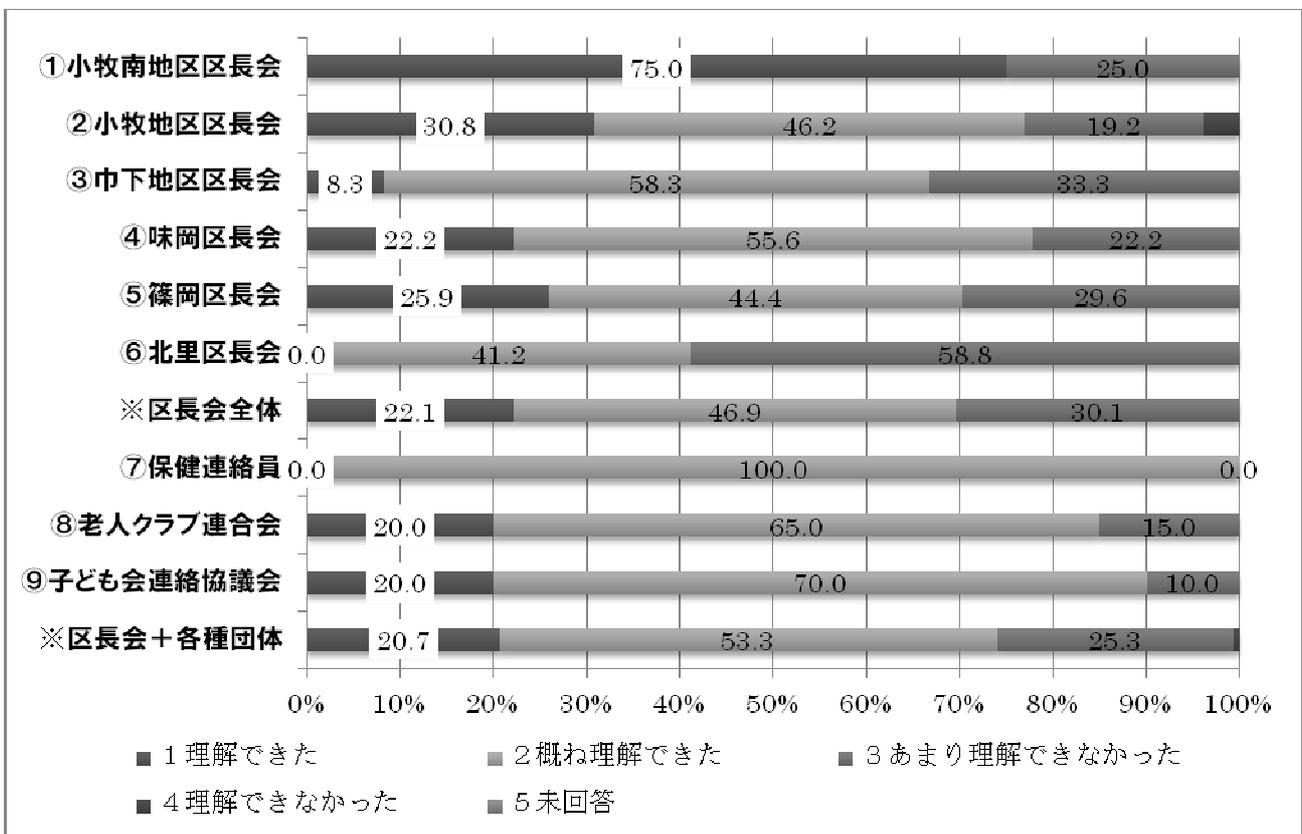
●設立できれば理想的な組織だと思うので、民生児童委員の立場で協力できるものがあれば協力していきたい。

意見交換会の当日アンケート結果

問1 本日の説明は分かりやすかったですか



問2 地域協議会の趣旨は理解できましたか



問3 地域協議会の必要性についてどう思われますか

